

## ■ 省エネ効果の算出について

本文中では、省エネによって削減できたエネルギー量を、データに基づき、電気料金・ガス料金などの金額に換算しています。さらにそのエネルギー量を「原油換算」「CO<sub>2</sub>削減量(二酸化炭素換算)」で示しています。家庭での省エネが節約だけにとどまらず、省資源対策・地球温暖化の防止につながっていることを、数字で示しました。

## ■ CO<sub>2</sub>排出係数

CO<sub>2</sub>排出係数は、地域・事業者・時期により異なりますので、ここでは「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」の電気事業者別排出係数を使用しています。特に電気についてはお使いの事業者によって大きく異なることがあります。

## ■ 省エネ効果の算出根拠

### 金額換算係数

**電気 27円/kWh**

(小売事業者表示制度 参照)

**ガス 180円/m<sup>3</sup>**

(平成26年版 ガス事業便覧 平成25年度実績 供給約款料金平均(合計平均)を45MJに換算 小数点第一位を切り捨て)

**水道 228円/m<sup>3</sup>**

(平成16年2月一般社団法人 日本電機工業会新水道料金・下水道使用料)

### 原油換算係数

**電気 0.252L/kWh**

(エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(第4条)より)

**ガス 1.16L/m<sup>3</sup>**

(エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(第4条)、ガス事業便覧(東京ガス等の13Aガス発熱量)より)

### CO<sub>2</sub> 排出係数

**電気 0.470kgCO<sub>2</sub>/kWh**

(電気事業者別排出係数 令和3年提出用「代替値」)

**ガス 2.277kgCO<sub>2</sub>/m<sup>3</sup>**

地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(第3条)、ガス事業便覧(東京ガス等の13Aガス発熱量)より

